

「酵素パワー」に驚き

福大連携
科学館と

40人参加楽しく実験



食べ物の中の酵素を調べる子どもたち

郡山市ふれあい科学館と福島の連携事業「おもしろ科学びっくり箱」は三日、小学生と保護者ら約四十人が参加。福島の杉森大助教教授を講師に、食べ物に含まれる酵素や、酵素の性質などを学んだ。

酵素の力の実験では、お湯で溶いたかたくり粉に市販の胃腸薬をかけると、酵素がタンパク質を分解しサラサラになった。食べ物の中の酵素調べは、「ご飯やジャガイモ」に消毒薬のオキシドールを付けた時の泡の出方で酵素がどれだけ含まれているかを確認した。子どもたちは身近な酵素の役割に興味深かった。



酵素をテーマにした「おもしろ科学びっくり箱」

福島大・郡山市ふれあい科学館
五日の開催を予定して
あいいい科学館
連携事業の
科学講座
「おもしろ科学びっくり箱」は三
福島大の杉森大助教

酵素の力にびっくり

福島大と郡山市
ふれあい科学館
連携し科学講座

授が講師を務め、デンプンを分解する酵素の力を「ご飯や胃腸薬を使った実験」で体験した。子どもたちは杉森さんの説明を聞きながら、実験を楽しんでいた。

平成18年6月5日
福島民友新聞

平成18年6月5日
福島民報新聞